

うさぎとかめ通信

上越市立高田幼稚園

(週刊：園長室だより) 106周年

令和5年2月24日

第175号

HPのQRコード→

「思い→体験→表現」は、幼児・児童・生徒に一貫する、遊び・学びの基本！



子どもの姿から

【令和の誕生会のステージセット】→

17日(金)に、誕生会を開催しました。

今年度最後の誕生会でした。おめでとうございます。そして、盛り上げてくださった保護者の皆様、園児の皆さんに深く感謝します。まつ組の皆さん、1年間誕生会の進行を担当してくれて、ありがとうございました。

さて、今回のお楽しみ企画は、職員による合唱と合奏でした。「ドレミの歌」はR. ロジャースさん作曲でペギー葉山さんの訳詞が有名です。「虹」は石崎ひゅーいさん作詞・作曲で菅田将暉さんが歌っています。ピアノの連弾による「君はともだち」、演奏しながら行進した「聖者の行進」にも取り組みました。「聖者の行進」は、園児の演奏バージョンもありました。



園庭・園舎から

【昭和レトロのファミレスメニュー】→

14日(火)は、読み聞かせの会でした。毎月、高田幼稚園を訪問していただき、様々な楽しい絵本を複数の皆様から読んでいただいています。情操教育はもちろんのこと、日常的に職員以外の大人の方と交流することは子どもたちの成長には大切な体験です。幼いときの遊びなどの多様な体験が、その後の学びの強力な基盤となります。そして、読み聞かせのよさは、やはり面白くて楽しいことですね。

16日(木)は、かめさんくらぶでした。今年度創設した「かめさんくらぶ」も最終回でした。全9回開催し、延べ19名の皆様が参観されました。今回、上越教育大学の平間特任教授様はていねいに子どもたちの活動や作品を見てくださり、担任とも親しく対話してくださいました。学校運営協議会の井上会長様は新雪の輝く園庭で、寒冷にもかかわらず、子どもたちの雪遊びを見てくださり、大きな雪だるまづくりを応援してくださいました。ありがとうございました。



キーワード

【大正期からの高田幼稚園の雛飾り】→

○幼児教育と小学校教育の共通の指導ポイント

子どもたちの学びをつなぎ、成長を促すためには、幼児教育施設と小学校とが互いの保育・授業を知ることが大切です。幼小連携・接続を契機にして、幼児教育施設と小学校が互いの保育・授業のよさを学び合い、さらなる保育改善・授業改善を進めていくことが求められています。

①成長を実感できる保育・授業づくり

- ・知的好奇心を刺激する
- ・身近な事象を取り扱う
- ・活動に没頭できるようにする

②意欲を引き出す集団づくり

- ・しっかりほめる、認める、共感する
- ・子どもの多様性を保障する
- ・自立への基礎を養う

③子どもたちのために一丸となって取り組む組織づくり

- ・組織全体として取り組めるよう仕組む

(引用：滋賀県教育委員会「学びをつなぐ幼小接続ハンドブック」令和2年3月)

